

# 父親の育児への関わり方（現状とニーズ）

資料3

妻の継続就業する場合のライフコース

産前休業

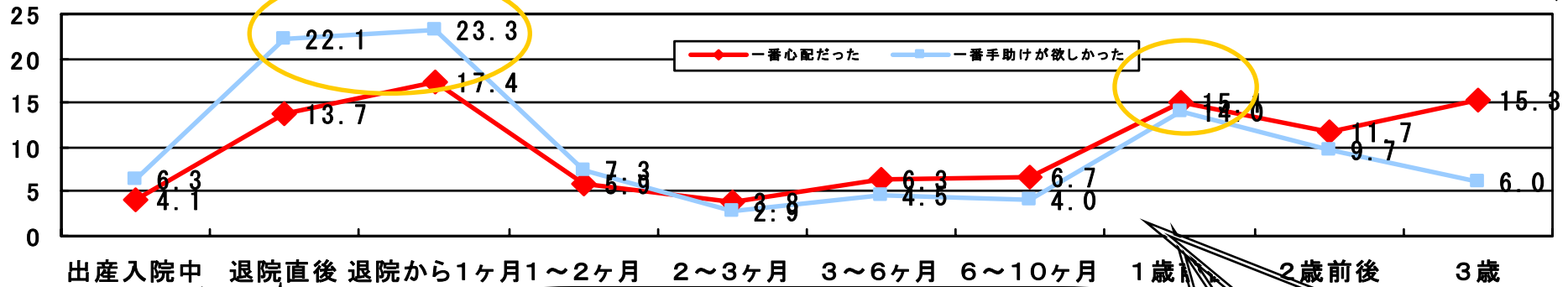
産後休業

育児休業

職場復帰

10ヶ月～12ヶ月未満で育休終了する者34.6%（※1）

妻の「育児について一番心配な時期」（※2）



妻のニーズ

○夫に対する育児休業取得についての意向（子育て層）（※6）

ぜひ機会があれば育休を取得してほしい 15.4%  
取得してほしいが、現実的には難しい 36.5%

○男性本人の育休取得についての意向（潜在的ニーズ層）（※7）

取得したい、できれば取得したい 34.1%  
○子どもと過ごす時間（理想）（※1）（上位3位）  
1～2時間未満 23.9%  
2～3時間未満 32.6%  
3～4時間未満 18.7%

○育児休業を取得して特に大変だった点（女性）（※8）  
復帰した時、職場の環境が大きく変化していた 29.0%  
○職場の様子が気になり不安だった 10.3% その他、復帰後過労のために体調を崩したという声もあった。

○いわゆる「ならし保育」の時期が職場復帰と重なるため、職場復帰前に「ならし保育」をしてほしいというニーズの存在（※9）

○ならし保育の期間 数日～数週間

夫のニーズ

○出産に立ち会ったか（※3）  
した 46.6%  
しなかったけれどできなかった 28.2%

○産後8週の休業取得希望（※4）  
ぜひとりたい 26.4%  
できればとりたい 37.9%

○男性の育児休業取得割合（※1） 0.5%

○取得期間（※1）

1か月未満 31.7% 1か月～3か月未満 65.8% 3か月～6か月未満 1.5%

○取得時期（※4注）子どもが3か月未満のとき 86.7%

○取得しなかった理由 妻が育児休業を取得したから育休を取得しなかった（※4） 45.8%

○子どもと過ごす時間（現実）（※3）30分～1時間未満 19.6%、1～2時間未満 27.0%  
2～3時間未満 17.0%

現状

○末子の出産時に休暇を取得した男性の割合（※5） 50.4%  
その際に利用した休暇制度（※5）  
「年次有給休暇制度」 56.0%  
「出産休暇制度」 54.0%  
「育児休業制度」 2.4%

\* 1) 厚生労働省「女性雇用管理基本調査」平成17年度 \* 2) 大阪府「地域母子保健サービスに関する研究～新しい乳幼児保健活動の標準方式の策定のための研究（平成15年）」 \* 3) ベネッセ次世代育成研究所「乳幼児の父親についての調査」平成15年 \* 4) 日本労働研究機構「育児や介護と仕事の両立に関する調査報告書」平成15年 注) 取得割合が低いため、数自体が少ない \* 5) ニッセイ基礎研究所「男性の育児休業取得に関する調査」平成14年 \* 6) 子ども未来財「子育てに関する意識調査」平成12年 \* 7) 労働政策研究・研修機構「仕事と生活の調和を可能にする社会システムの構築に関する研究」（平成19年） \* 8) 高知県 育児休業取得職員に対するアンケート調査 平成17年度（n=226） \* 9) 厚生労働省「持続可能な地域社会づくりモデル調査報告書」平成17年、ある市の保育園再編計画に寄せられた意見（平成19年）